

平成 23 年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報
(第 162 報)(23.5.12 更新)より

3 避難の状況(避難指示、勧告及び自主避難)

詳細別紙

計 98,159 人

(浪江町 20,083 人、富岡町 15,480 人、南相馬市 13,

【参考】避難所入所者数(県内は 5 月 11 日調べ、県外は 5 月 9 日

・県内 24,394 人

(一次避難【避難所】7,926 人 二次避難【旅館・ホテル等】16,468
人)

・県外 34,055 人

3.避難の状況(避難指示、勧告及び自主避難) 別紙

【参考】

区分	都道府県名	人数	備考	内訳
県外避難	山形県	1,861	105 箇所	別紙 参照
	茨城県	329	24 箇所	
	栃木県	2,201	81 箇所	
	群馬県	2,613	102 箇所	
	埼玉県	4,154	44 箇所	
	千葉県	409	90 箇所	
	新潟県	7,943	191 箇所	
	東京都	3,644	69 箇所	
	神奈川県	681	94 箇所	
	その他(35 道府 県)	10,220	900 箇所	
計		34,055	1700 箇所	

<福島県ホームページ同災害対策本部報告より抜粋>

福島県 避難所訪問記録（ふくしまけん ひなんしょほうもんきろく）

調査月日	避難場所	市町村名	年齢・性別	対応者	状況	ニーズ・困っていること	対応	その他
4/9	1	会津美里町	6歳 男性 脳性麻痺	父	家族で避難中。温泉付きで個室で家族で生活。現避難所で3ヶ所目。昨日まで母親が腎臓病で入院。	・次の所で個室が保障されるか。		
4/9	1	会津美里町	30代 精神	本人	母と一緒に避難。ここで3ヶ所目の避難所。大部屋で集団生活。	・母が立てなくなったことが心配(11日に病院受診予定)・娘を病院に連れていきたい。		
4/9	2	会津美里町	女性 精神	受付の人	被災前に親を亡くし精神的に不安定。一日中正座しており、体操等に誘うと笑顔になる。親以外の身内、支援者は不明。保健師が巡回。			
4/9	3	会津美里町	男性		足が悪く歩行困難。3階の教室から降りるのに、同部屋の方から支援をもらっている。	トイレは洋式しか使用できないが、3階のトイレは和式のみなので2階に降りていかなければならない。		
4/9	4	会津美里町	10才 女性 脳性麻痺	役場職員	家族と避難。歩行はできるがよく転ぶので、頭などにコブができています。		明日には家族で芦ノ牧温泉のホテルに移動する予定。	
4/9	5	会津美里町	90歳 男性	役場職員	訪問中、入院先から移動してきた。1人で来られ自立できているとの話だが、介助が必要と思われる	役場職員も多忙で何をどうしていいのかわからない。(避難所の中には入れてもらえなかった。)		
4/9	5	会津美里町		社協職員	介助の必要な方がいる家族が避難している。設備は整っており、用具の不足はない。	職員曰く、今後、精神的なケアが必要になってくるのではないかと。		

4/8	6	会津若松市	統合失調症	本人	被災時入院中。持病があるため郡山の病院に転院後、現在の避難所へ。疲れない程度にリハビリをしている。	・医療費はかからないが、生活してゆくのにお金が大変。杖を買うのも実費。車いすのリースも保証人が欲しいといわれた。 ・子どもたち(孫)のストレスを考えると辛い。		
4/8	6	会津若松市	精神	保健師	本人の希望で4/6に移動。個室対応している。富岡町の作業所に通所していた様子。他の避難所も行ったが、難しかった。			現在、会津若松市の社会福祉課で対応している。
4/8	6	会津若松市	透析	保健師	人工透析8名。南相馬で被災し、家族と別々に避難した方もいるが連絡は取れている。送迎ボラ体勢で週3通院。うち高齢の1名は包括での支援が決定。			
4/8	7	猪苗代町		管理者	約30名が避難している。男性は仕事に行き、週末帰ってくる。残っている人は共同で食事を作っている。	・ひざが悪く入浴困難な高齢者がおり、介助イスを借りに行ったが断られた。 ・家族が認知症で、青年交流の家にいるが、徘徊などがひどく心配している。	関係機関に連絡訪問したが貸し出しはできないと言われた。	なんとか対応できないのだろうか。
4/8	8	猪苗代町			133名が避難している障害者は今朝他へ移動した。	・入れ替わりが激しく、現状の把握が難しい		
4/11	9	いわき市	70代 女性 精神(うつ)	家族(娘)	津波で家が流され避難。相馬公立病院から薬を処方されている。東京からの医療チームが毎日巡回に来ている。	罹患して10年。最近症状が良くなっていたが、被災して家を失い、再び落ち込む。現在も避難所でほとんど横になっている。		

4/11	10	いわき市	87歳 男性 脳梗塞による右 片麻痺	家族(長 男)	地震と津波で家もベッドも電動車いすも壊れた。2, 3日は消防署にいたが、その後はこの避難所で生活している。	被災してからの1か月間一度しか入浴していない。(バスによる入浴先までの送迎が定期的にあるが、気をつかい行っていない。 長男は漁業をしていたため現在仕事がなく、この男性の行く先を早めに決めたいと思っている。		奥様が現在四倉の老人ホームに入所しているの、一緒に入所させてあげられればと長男さんは考えている。
4/11	11	いわき市			ここに避難していた知的障がいの方が静岡に避難。	避難先に作業所がなく困っている。		
4/15	12	いわき市	40代男性重度 の知的障害	妹	過去に保養院に入っていて大変な目にあつたので、一生家族が面倒を見ていく。着替えは自分できない。父親も聴覚障害。家族全員がしんどい。			
4/15	12	いわき市	60~70代 女性視覚障害で 精神疾患もあり		さびしい。一人では怖い。揺れが起きるたびに不安になる。		傾聴	
4/15	12	いわき市	60~70代 女性脇腹にヒビが 入る怪我				傾聴	
4/16	13	いわき市	男性心臓疾患		医師が避難所に診察に来てくれ、薬は足りている。ぐっすり眠れない。仮設住宅の話などまだなく、行政の対応が遅い。			
4/16	14	いわき市	69歳 女性小 児麻痺知的障 害		自宅は震災の為使用困難。歩行困難とコミュニケーション困難があり、自宅家族と離れ、体育館で避難生活。	ラジオが欲しい。		排泄物の処理が困難な様子。

4/16	14	いわき市	71歳 男性身体障害精神障害3級		公立病院が遠くて通えない。足がない。膝が痛む。神経科の薬がない。自宅は住める様子ではない。他科の薬は今日もらえた。	通院のことと、神経科の薬、特に安定剤がもうない。		見守りが必要か。
4/16	14	いわき市	60~70代 女性両下肢機能の著しい障害身体障害2級の手帳あり		ようやくカップラーメンやパンやご飯といった食事が摂れるようになった。週に一回医師の診察あり。週一回、医師の診察あり。糖尿病の治療中。自宅は住める状態ではない。	両足が不自由であるので歩行に困難が伴う。集団生活でのストレスで不安感が強い。神経科の薬は足りている。		
4/16	14	いわき市	20代 男性統合失調症自閉症療育手帳2種B級	弟	地震により家屋が全壊し避難生活を余儀なくされている。生活環境が変わったが、今のところ落ち着いている。作業所ミントに通所	病院に通えていない。病院が被災してしまった。 * 普段の薬が飲めていない可能性がある。		
4/17	15	いわき市	70~80代 女性右半身麻痺右上肢機能全廃右下肢機能著しい障害	娘	4/11より避難。自宅は住める状態ではない。車いす生活。せいざん荘の木村さんに大変世話になった。	LLサイズの紙おむつがない。エムズワンのものが良い。お尻拭きと身体拭き、可能であれば介護ベットがあるとありがたい。		
4/17	16	いわき市	70代 女性左半身麻痺(多発性脳こうそく)介護認定4	娘	左半身麻痺のため寝返り不可。避難所内移動は付添が必要。震災前利用していたデイサービスいきがい村の系列病院のリハビリに週二日通所。服薬はできている。	入浴が全くできていない。週一回、病院リハビリのシャワーを利用できるかもしれない。紙おむつを三重にして使用。あと一週間分くらいある。(パンツ式+夜間用パット+小パット)。オムツを交換してくれる人が居れば、ものすごく助かる。		・震災前は自力でトイレに行くことができた。・被災前はデイサービスを利用していたが再開のメドなし。・被災前に介護をしていたご主人も心臓が悪く、足腰も弱い。避難所ではご主人による介助は困難である。・ご本人も現介護者の娘も疲労。

4/8	17	大玉村	60代 女性 身体		5か所目の避難所。別の避難所で健常者も障害者も大変なのは同じだと言われ違和感を感じる。	・先の見通しがみえず、いつまでこの生活が続くのか知りたい。		
4/7	18	小野町	60代 女性特定疾患(難病) 酸素吸入+ストーマー夫・義弟が精神	本人	夫は以前入院していた	・特定疾患の手帳を紛失。家族でもいいので、手続きをしてほしいと言われるが、家族も障害があり、難しい。		
4/8	18	小野町	48歳 男性 精神	母	息子が精神科に通院している	・息子のことが心配。1人でふらっとでかけてしまうことある。		
4/5	19	郡山	?・女性	本人	本人に障害なし	いわき(母方実家)に避難している パーキンソン病の父が心配	4/6 連絡先を聞き、電話をするが不在。本人に電話をするが、そちらも留守電。	
4/5	20	郡山	68歳 女性	本人	富岡町より避難。リウマチ・人工関節で通院必要。時々救急搬送されている。	・ベットなく、寝起きが大変。 ・以前から通院しているいわき市内に住む場所が欲しい ・生活保護申請など福祉相談がしたい		
4/5	21	郡山	70代・男性 聴覚(2級)	本人	本人は大丈夫と言っているが、周囲の人が心配している。	・補聴器の補助金もつかず、収入も少なく買えない。		
4/5	22	郡山	60代・女性左股 人工関節	本人	関節が痛い。しばらくは薬もなく、痛みが強かったが、医師が来たため、薬もらい今は楽	・次の避難所に行ってほしいと言われるが、今後のことも分からず、もう少しここにいたい。 ・二本松市内に居住希望		

4/5	23	郡山	60代・男性アルコール依存症	知人女性	避難所にはおらず、自宅にいる。3年前アルコール依存症と言われた。人づきあい少ない。物置のよな建物に住んでいる。通院はしていない。状況は保健師に話しているが、見に行った様子はない。	・安否確認をしてほしい。	・4/7 郡山市地域保健課へ連絡。保健師が訪問できるよう聞き取りに行ってもらう・中田町行政センター保健師が訪問予定	
4/5	23	郡山	40代・女性右下肢不自由	本人	自宅が半壊し、息子・娘と避難	・避難所内の移動、トイレ等が不便 ・これからの住居についての不安		
4/5	24	郡山	10代・男性重度重複	家族	いわき市の養護学校通学していたが、自宅が避難して地区になった	・早く自宅に戻りたい ・集団生活が長期化することで、周囲から心ない言葉をもらうことがある。		
4/6	25	郡山	56歳・女性脳梗塞・左半身麻痺	本人	自宅が自主避難区域。 夫が3日一度家へ帰っている。	避難所の風呂に椅子があれば危険なく、1人で入れる。男女で時間が分かれているため、家族介助が難しい。 ・娘など家族がバラバラで不安 ・息子が知的障がい。時々遠くに行ってしまうので心配。	・4/6 相談支援報告。今後の対応をお願いする。	
4/6	26	郡山				・先がみえない ・夜眠れない		いろんな方がまわっている。事前んに連絡がほしい。一義的に責任を持って対応してくれないのかという話あり。
4/6	26	郡山	30代 男性知的？	知人	被災するまでは富岡の作業所に通っていた。	・作業所に通えない ・家に帰りたいが帰れないと話していた。		

4/6	27	郡山		館長	地元の方の避難が当初は中途障害の方もいたが現在は自宅に帰っている。 23歳の男性が精神障害をもっているように感じる。			プライバシーの問題のため、直接会うことはできなかった。健常者のみの避難所との認識があるため、支援等は一切行っていない。
4/6	28	郡山	36歳・男性知的障害	本人	上記女性の息子在宅で、父と田畑などの仕事をしていた。 1日なにもすることがない。歩いて出ていってしまう。30K離れたところで警察に保護された。	・難所での生活は眠れない。 ・家に残した犬・猫が心配 ・早く家にかえりたい	上記母とともに相談支援に対応をお願いする。	
4/6	29	郡山	38歳・女性ウェルニケ症候群	本人・夫	昨年10月に発症し、病院に入院中に被災夫が病院から連れ出し、避難した。	・手帳の申請中だったが途中になっている・埼玉へ4月転居の予定だが、引き続き福祉サービスが受けられるか・入院中で、リハビリ訓練中だったので、埼玉で治療の継続ができるのか	・4/6 相談支援に報告。今後の対応をお願いする。	
4/7	30	郡山	女性多発性硬化症（難病）		移動には杖を使用避難所に医師・保健師が良く来ている。	・移動先で医者診察が受けられるか、薬をもらえるか心配。		
4/7	31	須賀川市	50代・女性精神	夫	服薬をしていたが、本人が嫌がったため、やめている。3か月前から調子悪い。夜眠れず、避難所を夜歩き、戸の開閉がうるさいと苦情。現在は家族で個室にいる。	毎日たいくつ。散歩程度の運動。		・夫は原発関係の仕事をしていた。この先どうなるか心配 ・病院につながっていない
4/7	31	須賀川市	50代・女性精神	本人	余震が恐く、夜は自宅に帰るが、日中はアリーナに来ている。	・アリーナにいることを認めてもらっているが、今は避難者ではないため、屋にことにいることに遠慮がある		

4/7	32	須賀川市	女性 リウマチ	本人	原発避難地区。 ベット・車いすをリースして生活している。	・リウマチのためプレトニン服用。抗 体低下。 ・感染症がこわい ・原発が不安		
4/9	33	相馬市	16歳 男性 脳性小児麻痺		浪江町から避難。8日に養護学校に行 った。今日は本宮のスケッチブック生 きがい介護施設による風呂を利用し た。自宅に帰れる保障がない。OTが 障がいを持っている人の情報収集や 対応を始めている。	障がいを持っている方は家族や周 囲が温かく対応しているが、この兄 弟(?)はかまってもらえない。家族 へのケアも必要。		
4/11	34	相馬市	70代 女性		杖をついてゆっくり歩いている。	ベッド、シャワーチェアあればい い。(仕切りのない広い体育館)		
4/12	35	相馬市			f	・スタッフ不足。避難所を見守るスタ ッフが欲しい ・70歳の障害者の入浴介助ができ ない		
4/12	36	相馬市				・いつ避難しなければならなくなるか 心配 ・ここで生活するのであれば解雇さ れる。		
4/12	37	相馬市			140名が生活	・行政がなかなか協力してくれな い。		
	37	相馬市	男性統合失調 症			・病院に行っていない ・医者の往診もない	ひまわりの家がある場所で 病院へ連れてゆく	
4/12	38	相馬市				・作業所を仮設する費用等のため にお金が必要		

4/12	39	相馬市	60代 男性腰 椎カリエス		生後20年寝たきり、現在は杖歩行。 小高地区から避難してきた。3回の移 動に次ぐ移動で体調を崩した。今後は 飯坂へ行く予定。自衛隊の風呂が何 度かきたが、その場所までの歩行が 困難なため、地震以来風呂に入ってい ない。	・移動するまえに、もっとわかりやす い情報がほしい ・やっと落ち着いたと思う頃にまた 移動で混乱する。		ボランティアさんとの繋がり が強く、次の移動には自動 車・犬を飯坂までつれて行 ってもらう予定。 ボランティアで対応できな い部分で、我々ができる部 分はないのかと思う
4/12	39	相馬市	46歳 女性肢 体不自由(キン ジス?)		川内村から避難。キンジスの疑いがあ り、医療機関に受信後地震。理学療法 とリハビリを行っている。手帳はまだな い。	・郡山のビックパレットに移動した いが、交通手段がない。・ビックパレ ットは同じ村の人が多い。さみしいの で早く移動したい。・かかりつけの理 学療法士がビックパレットにいる。・ ビックパレットには確認が取れてい る	相談支援に連絡対応して もらう。	
4/7	40	田村市	女性 精神		田村市から家族と一緒に避難。被災 前は作業所に通所	通っていた作業所の仲間のこと が心配	調べて報告してあげること はできるか。	
4/9	41	西会津町		家族		・支援学校をどうするか悩んでいる		
4/9	41	西会津町	女性 知的障害	母	大熊町では支援学校に通学していた。 当初は体育館に行ったが慣れず騒い だため親戚を頼ってここへきた。現在 は仕切りや遊ぶ所があり落ち着いて いる。若松の旅館へ移る事になっている	・大熊町は廃校になった小学校に 行く事になるがその支援学校に行く のか、養護学校に行くのか迷ってい る。　・支援学校にいた介助員 3人は解雇になったので今まで通り にならない。また、放課後支援も受 けていたがどうなるのか不安。		

4/8	42	二本松			浪江・富岡・双葉からの避難者が多い。ホテルや旅館への二次避難が始まっているが、子ども、介護が必要な高齢者が優先でまだ何も知らされていないひともいる。建物は階段が多い。個室になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿で退院したばかり。避難所の食生活ではまた悪化してしまうかも。 ・農家の方：当分はと言われるが、当分が長い。あきらめとくやしい気持ちもちが半々。 ・2次避難をするが、その後の見通しもたたない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前にいた体育館に脳性まひ？酸素吸入している人がいた。 ・ここ数日で、かなりの人が2次避難を始めている。猪苗代へ行く方は、それも7月までと言われている。そのあとは仮設住宅ともいわれているが不確か。
4/8	43	二本松	40代・女性事故の後遺症 てんかん？身体3級	本人・家族	家の損傷がひどく戻ることにはできない。稲作・家事手伝いをして過ごしてきた。避難時に薬手帳を持参したため、医院で薬をもらうことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元に戻れないと何をしてゆけばよいかわからない。 ・地元に戻り、仮設住宅からでも稲作を始めたい。 ・障害のことを受付の職員にも伝えているが、体育館を歩きまわたりすることで、周囲から白い目で見られる。 	本人と話をしたが、会話が繋がらず、ゴミ箱をいじったり時間の過ごし方を見つけられずにいる。コミュニケーション面での配慮が必要と感じる。
4/8	43	二本松	県職員受付で対応		浪江町の方が多い。介護が必要なことから2次避難を始めており、足の悪い人は昨日移動した。随時他の人も移動していく予定。		同じ町内の人であるが、つながりがないのか障害者の存在を分かっている人もいない。
4/8	44	二本松				<ul style="list-style-type: none"> ・旅館に移動が始まっているが、情報が入らなくなるのではと不安。 ・持病があるため食事内容で病状が左右される。お世話になっているので、これ以上の願いはできずにいる。(血圧・糖上昇)・入浴・洗濯にもお金がかかり、先が見えないのが不安 	

4/12	45	南相馬市	7才 男児高機能自閉 5才 女児 アスペルガー		家族4人自宅で生活している。収入が無くなり、貯蓄を切り崩して生活している。食料事情も苦しくなってきたので、避難所にもらいに行くが支給できないとのこと。社会福祉課の貸付を利用したと言われてたが、返済のあてがないのに借りることはできない。	・食料がなくなりそう ・子どもたちもストレスがたまり、パニックを起こすこともある。日中過ごす場がほしい ・他にも同じ境遇の人がいる。	えんどう豆が対応。物資を届ける予定。	
4/12	46	南相馬市			ポータブルトイレの避難所ではできないため、ぴーなっつで入浴している。	・介助者も休みがない		
	47	南相馬市	精神		保健所と連携している。 ひばりが丘に通院していたが薬がもう切れる。公立相馬病院のほうで受診する			
4/7	48	三春町			・衛生状態が悪い ・駐車場の車内で生活してる人がある。(よく眠れない)			
4/7	49	三春町	富岡町の通所・入所の利用者	ワークセンターさくら施設長	避難先を転々としてきた。	・作業ができなく顔色が悪い。 ・近所の作業所から声かけがあり、軽い運動をしている。		
4/8	50		90代 女性足が不自由	本人・娘	被災前は杖で歩行。1人暮らしをしていたが、被災後車いすを使用。娘が一緒にいる。	・娘 このまま寝たきりにならないか心配 ・本人 早く家に戻りたい		